

富岡町特定復興再生拠点区域 復興再生計画アクションプラン



はじめに

富岡町は東日本大震災及び原子力災害からの真の復興を目指し、帰還困難区域を段階的に再生する「特定復興再生拠点区域復興再生計画」に基づくライフラインの復旧や除染をはじめとした生活環境の整備にむけて懸命に取り組んでいます。

かつてのように、自然豊かに、人々が朗らかに生活できる地域として再生するには、この地域に関わる皆さまの暮らしと、地域に希望と元気を与えるにぎわいを重ねあわせ、何事にも不安なく健やかに過ごす地域づくりが必要です。

ここでは、大震災と原発事故で経験した深い悲しみから立ち上がり、身近な希望から始まる“復興への足取り”を確固とするため、「暮らし」・「にぎわい」・「健康」の3つの視点をもとに、具体的な施設等の整備や復興施策を『富岡町特定復興再生拠点区域復興再生計画アクションプラン』としてとりまとめました。

本アクションプランで示した各施策をもとに速やかに再生し、復興過程となる令和5年春の避難指示解除を目指すとともに、その先の発展する姿を夢み、町民の皆さまとの協働と、国や県などの関係機関や団体と協調しながら、当該地域の再生を推進していきます。

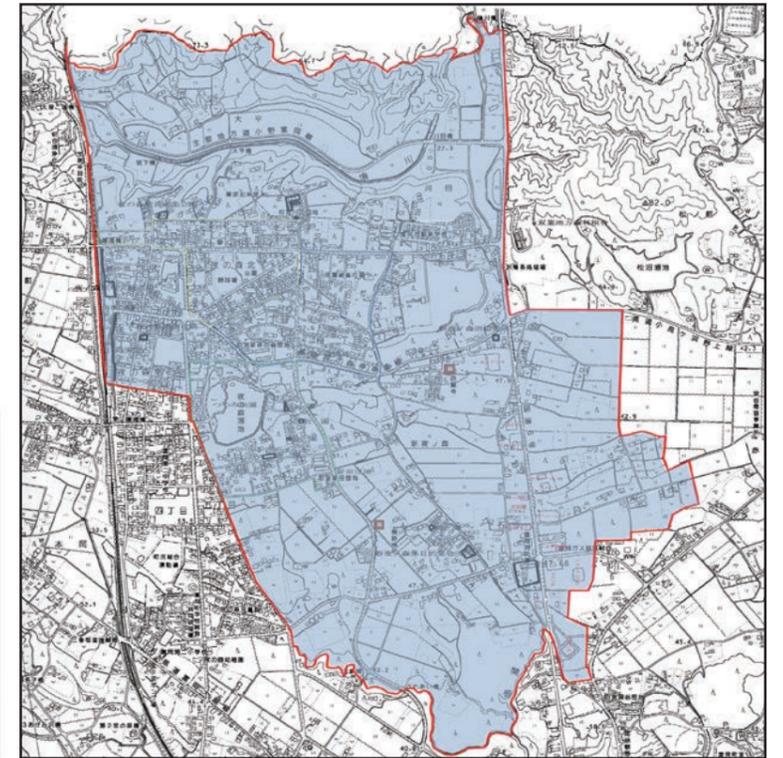
目次

はじめに	1
対象エリア／対象期間／再生・発展をささえる三本の柱	2
特定復興再生拠点の整備イメージ	3
暮らしの再生	5
新たなにぎわいづくり	7
健康づくり	9
公共交通機関等をつなぐ岡内・曲田地区や近隣町村との連携	11
災害に備えたまちづくり	12
再生・発展に向けた主な取組	13
特定復興再生拠点区域のライフライン(上下水道・道路)の復旧	14
特定復興再生拠点区域の除染	15
放射線リスクコミュニケーション	16
全体工程表	17

対象エリア



帰還困難区域



特定復興再生拠点区域

対象期間／令和2～10年度の9年間

※「特定復興再生拠点区域復興再生計画」では計画期間終了から5年後の居住人口等の目標を示しています。その実現に向け、本アクションプランは対象期間を9年間とします。

再生・発展をささえる三本の柱

暮らしの再生

住まいや買い物環境を整備し、暮らしやすく働きやすい生活空間づくりを進めます。

新たなにぎわいづくり

夜の森公園、桜並木、健康増進施設などの交流拠点を再生し、町のシンボルである「桜」を活かした交流人口の拡大により、新たなにぎわいを創出します。

健康づくり

健康増進施設や夜の森つつみ公園の再整備などにより、町民の“健康寿命”を伸ばし、町民が元気を取り戻すまちづくりを進めます。

特定復興再生拠点の整備イメージ



●再生・発展をささえる三本柱

復興に向けた足取りを確固とします

住まいの再生・買い物環境の整備

桜並木等の交流環境の整備

住みながらして健康寿命の延伸

●町内外とのつながり

往来しやすい環境を整えます

令和2年3月14日JR常磐線の全線開通

路線バスの運行ルート変更

巡回バスやタクシー利用の支援

●教訓を生かした防災

想定外も想定内にかえる防災に取り組みます

エネルギーゼロ住宅の推進

災害時における給水機能の整備検討

防災対策の強化と防災意識の醸成

※今後の検討状況により変更となる場合もあります。
※公共施設の配置は町全体の居住人口や人口分布、年齢構成等を勘案しながら検討していきます。

くらしの再生

住まいや買い物環境を整備し、暮らしやすく働きやすい生活空間づくりを進めます。

●住まいの再生による「快適な」くらし



町営住宅新田団地

- 令和5年春頃の供用開始を目指して、町営住宅新田団地(30戸)を復旧します。
- このほか、町民の住宅需要を把握しながら、民間賃貸住宅の供給状況を見定め、新たな公営住宅の整備を検討します。



●歩いて行ける「便利な」くらし



買い物環境

- 食料品や日用品を地域内で買い物ができる環境を整備します。
- 地域のみなさんが愛情を込めて作った野菜を販売できる「ふれあい市場」などを検討します。

●地域みんなで守る「安全な」くらし

双葉警察署 夜の森駐在所

- 避難指示解除に合わせ、夜の森駐在所の再開を目指します。
- JR常磐線の全線開通に合わせ、JR夜ノ森駅に警察官立寄所を設けます。
- 消防団や地域住民など地域の目線で防犯対策に努めます。



新たなにぎわいづくり

夜の森公園、桜並木、健康増進施設などの交流拠点を再生し、町のシンボルである「桜」を活かした交流人口の拡大により、新たなにぎわいを創出します。

●「交流拠点」の連動によるにぎわいづくり

交流拠点をつなぎ、町全体のにぎわいを広げていきます。



●みんなの会話が はずむ交流公園

夜の森公園

- 芝生帯や健康遊具などを整備し、多世代間の交流が生まれる環境を整備します。
- 春の桜、夏の新緑、秋の紅葉、冬のイルミネーションなど、四季を通じて“にぎわい”が生まれる空間づくりに取り組みます。



●後世に「守り」・「育て」・「繋ぐ」桜並木



桜並木

- 桜並木の改良や樹木医による適切な維持管理、植樹帯の整備などを行い、人と桜に優しい空間づくりに取り組みます。
- 桜オーナー制度など地域への関心を高め、交流が促進される再生に取り組みます。

●にぎわいを広げる発信拠点



健康増進施設

- 交流拠点の連携や町内周遊へとつなげる情報発信を行います。
- 誰もが気軽に集える空間づくりに取り組みます。

健康づくり

健康増進施設や夜の森つつみ公園の再整備などにより、町民の“健康寿命”を伸ばし、町民が元気を取り戻すまちづくりを進めます。

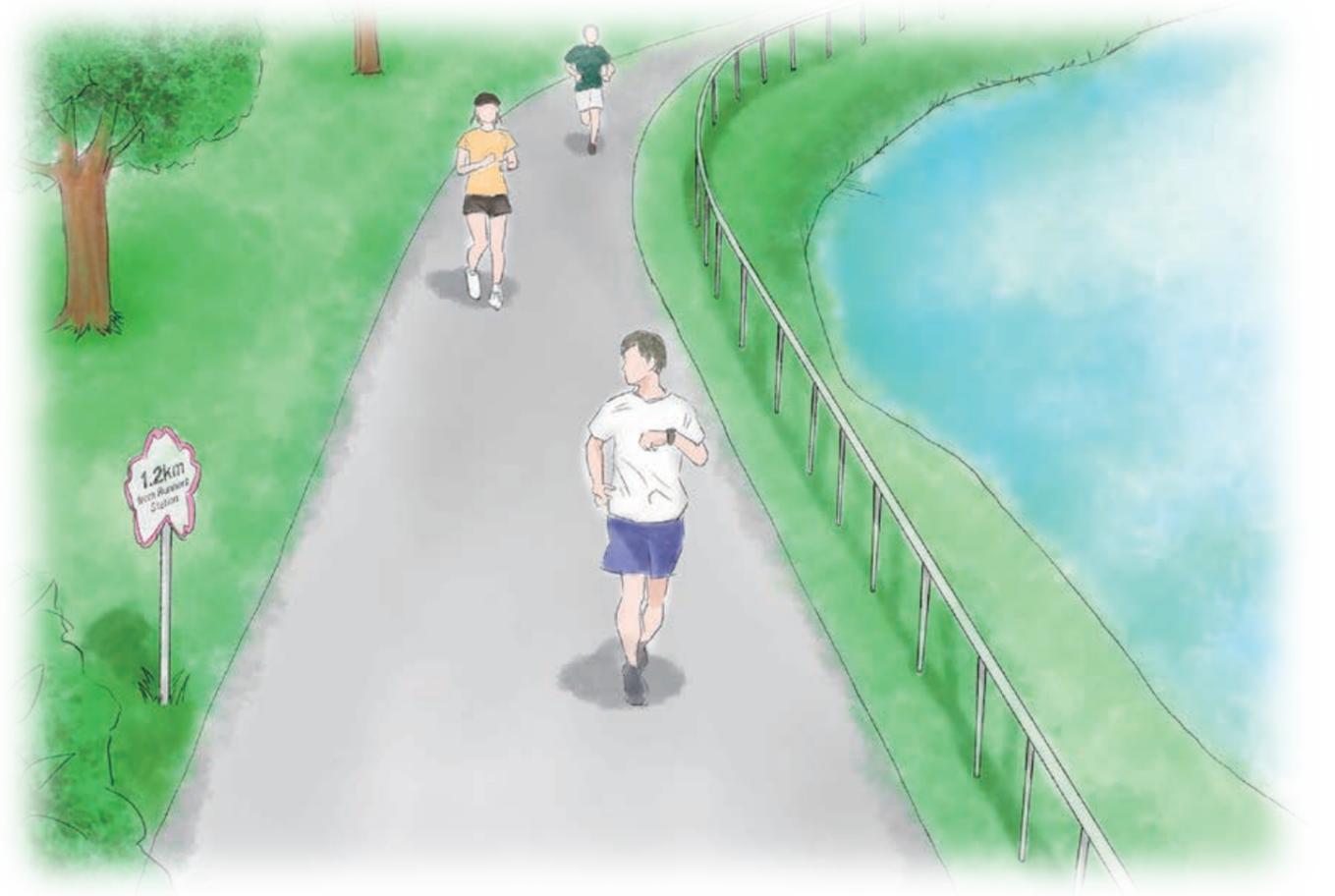
●みんなで心も体もリラックス



健康増進施設

- リフレ富岡の跡地に新たな健康増進施設を整備します。
- 大きな浴槽で足を伸ばして入浴し、心も体もリラックスできる温浴施設を再整備します。
- ロッカーや更衣室を備えたランナーズステーションを整備し、身軽にランニングを楽しめる環境づくりに取り組みます。
- 子どもからお年寄りまで、運動が得意な人も苦手な人も、自分のペースで気軽に楽しむことができる運動スペースを整備します。

●自然を感じながら楽しむ運動公園



夜の森つつみ公園

- 四季折々の花や緑を眺めながら、ランニングやウォーキングなどができるコースを整備します。

●住みながらにして高まる健康への意識

- ランナーズステーションをスタート地点とした、地域を周遊するモデルコースを設定します。
- 歩道上には、走行距離を確認できる案内板などを設置します。



(イメージ)



A 夜の森公園コース B つつみ公園周回コース C 地区全域コース (イメージ)

公共交通機関等でつなぐ 岡内・曲田地区や近隣町村との連携

●JR夜ノ森駅整備イメージ



JR常磐線

路線バス

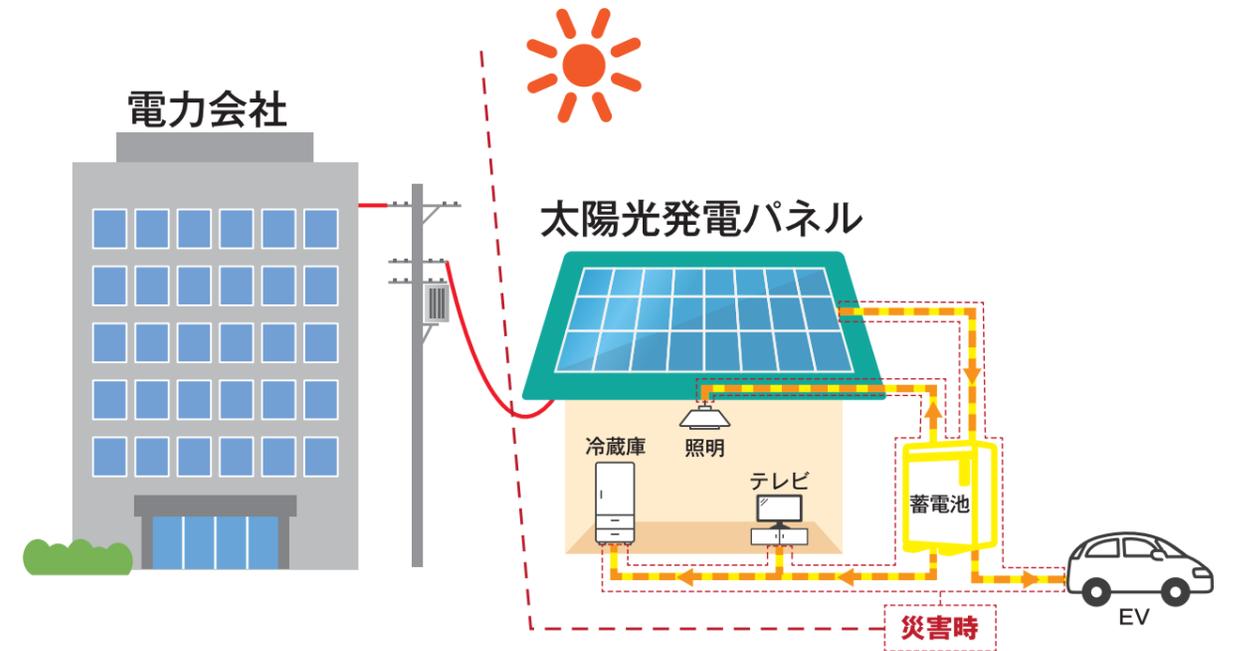
デマンドバス・タクシー

- 令和2年春頃を目標に路線バス(川内-富岡線)の路線を変更し、夜の森地区と岡内・曲田地区を結び、近隣町村との連携によるにぎわいの創出を図ります。
- このほか、必要に応じて路線バス(町内循環)の路線延長やタクシー利用の支援を検討します。



災害に備えたまちづくり

●想定外も想定内に、生活に安心を



太陽光発電と蓄電設備を備えた住宅の推奨

- 地球温暖化の防止に寄与する再生可能エネルギーの普及・促進を図り、また、災害発生時にも電力を確保できる住宅用太陽光発電と蓄電設備の導入支援を検討します。



給水・充電ステーション整備の検討

- 災害に備え、電気と水の迅速かつ安定的な供給体制の整備を検討します。

災害に備えた環境づくり

- 非常食糧などを備蓄する防災備蓄倉庫を活用した避難訓練等の実施により、平時から地域における防災対策や意識啓発に取り組めます。



再生・発展に向けた主な取組

生活環境

防犯対策

・特定復興再生拠点区域内の防火・防犯パトロールを実施します。

有害鳥獣対策

・富岡町鳥獣被害対策実施隊と連携し、被害防止に努めます。

にぎわい

にぎわいづくり

- ・桜並木や健康増進施設などの交流拠点を活用した観光誘客による交流人口の拡大に取り組みます。
- ・VR技術やプロジェクションマッピングを活用した桜の仮想空間の創出など、通年での観光誘客を図ります。
- ・民間事業者と連携した『カラフルとみおかプロジェクト』を推進し、彩り溢れる魅力あるまちづくりを町内全体に広げていきます。
- ・移住・定住を促進し、居住人口の増加を図ります。
- ・国道6号沿いの既存商業施設の事業再開や新たな企業誘致に取り組みます。
- ・特定復興再生拠点区域内での事業再開支援に取り組みます。

健康

健康づくり

- ・健康増進施設や健康遊具を活用し、心身ともに健康な生活が送れる環境づくりに取り組みます。
- ・ウォーキングイベントの開催などによる賑わいと健康づくりに取り組みます。

放射線に対する健康管理

- ・定期的な内部被ばく検査や甲状腺検査を実施し、検査結果の丁寧な説明を含む健康相談に取り組みます。
- ・特定復興再生拠点区域内全域の各種放射線モニタリングを継続的に実施し、測定結果をわかりやすくお知らせします。
- ・食品検査所の活用を促し、食に対する不安払拭につながる情報をわかりやすくお知らせします。
- ・放射線に関する勉強会や相談会を定期的開催します。

営農再開

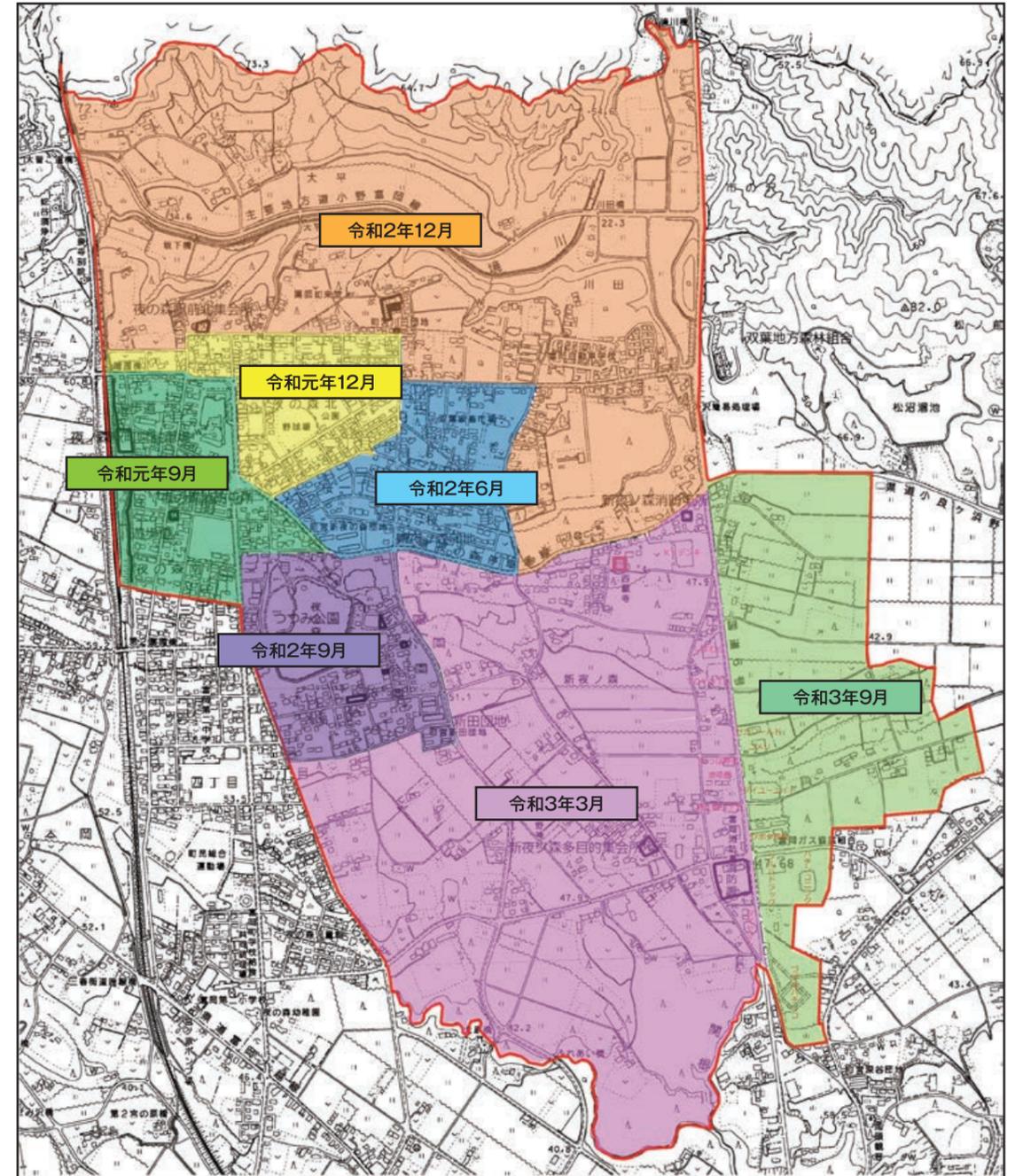
農業アクションプランの実現

- ・農地の保全と地力回復を行いながら、営農再開の基盤を構築します。

特定復興再生拠点区域の ライフライン(上下水道・道路)の復旧

- 上水道・下水道は、令和3年9月までに、順次復旧する予定です。
- 道路は、令和4年9月までの復旧を目指し、順次復旧工事を進めていきます。

上下水道施設復旧目標時期の設定(特定復興再生拠点区域)



復旧の目標時期を定めた区域

令和元年9月	字夜の森南1丁目 字夜の森南2丁目の一部 字夜の森北1丁目の一部	令和元年12月	字夜の森北1丁目の一部 字夜の森北2丁目	令和2年6月	大字小良ヶ浜字市の沢の一部 桜1丁目、桜2丁目 大字本岡字新夜ノ森の一部	令和2年9月	字夜の森南2丁目の一部 大字本岡字新夜ノ森の一部
令和2年12月	大字大菅字大平の一部 大字大菅字川田の一部 大字小良ヶ浜字市の沢の一部 大字本岡字新夜ノ森の一部	令和3年3月	大字本岡字新夜ノ森の一部	令和3年9月	大字本岡字新夜ノ森の一部 大字本岡字王塚の一部 大字小良ヶ浜字深谷の一部		

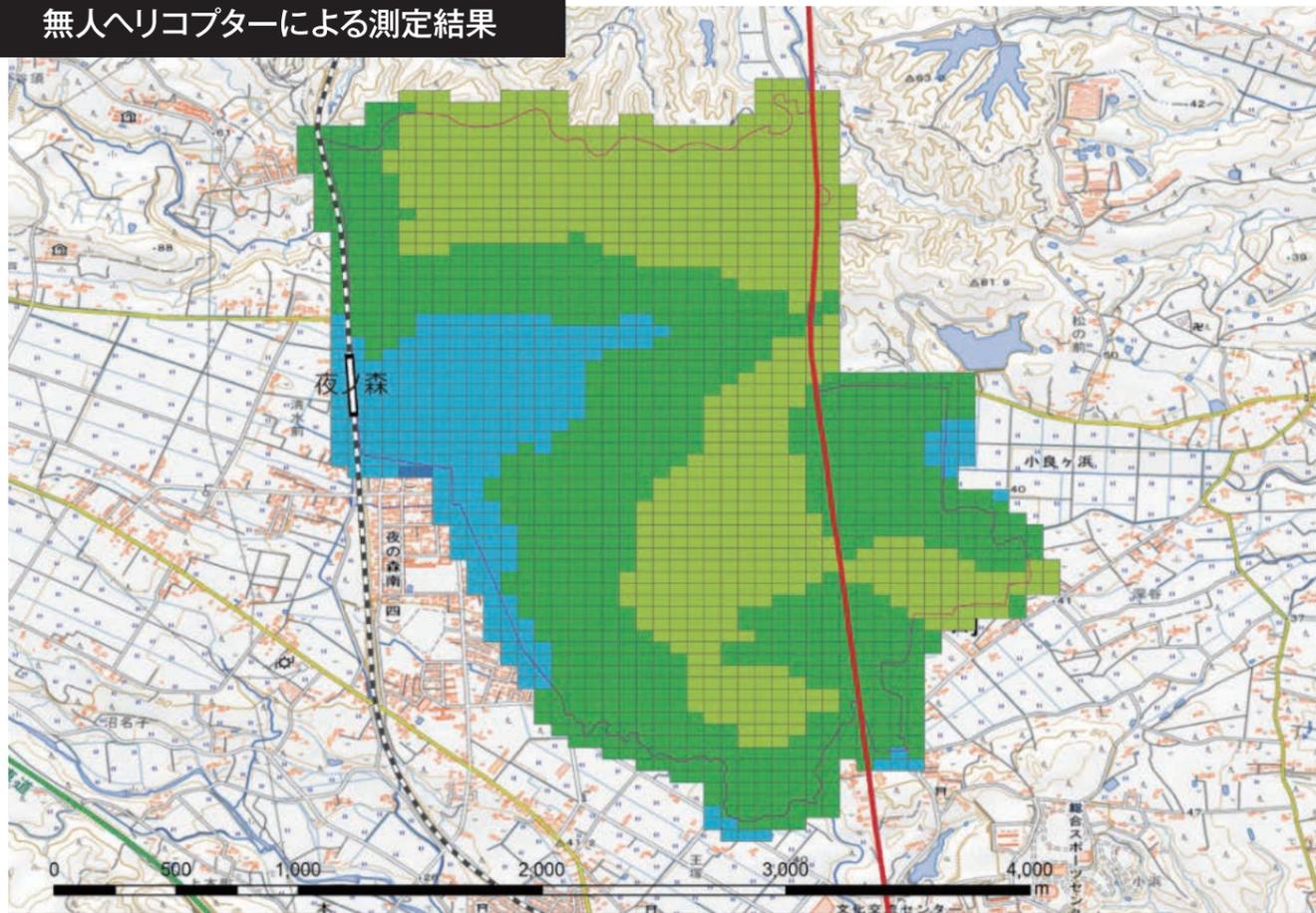
特定復興再生拠点区域の除染

- 令和3年3月までに、面的除染は概ね完了予定です。
- 富岡町除染検証委員会により除染効果を検証します。
- 町独自の放射線量測定結果等を基に専門的に分析・検証し、除染効果が十分に認められない箇所等は、国に対しフォローアップ除染など放射線量低減策の迅速かつ確実な実施を求めます。

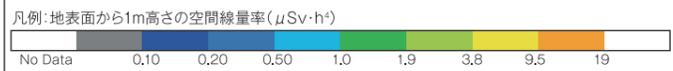
富岡町特定復興再生拠点区域の空間線量率測定結果

(令和元年8月1日現在)

無人ヘリコプターによる測定結果



地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図を利用。
令和元年8月1日現在。原子力規制庁受託事業として国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が測定した結果を元に、原子力被害者生活支援チームが作成。



放射線リスクコミュニケーション

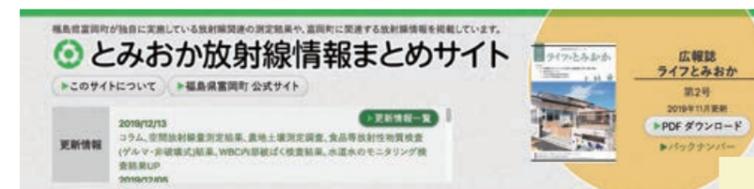
○専門家等と連携した放射線相談体制の構築

- ・長崎大学と包括連携協定を締結。被ばく線量評価や健康相談などの取組を実施しています。
- ・非破壊式放射能測定装置やゲルマニウム半導体式核種分析装置を常備している食品検査所で農産物や水などを測定しています。



○放射線に係る情報発信

- ・放射線情報を分かりやすくまとめた特設サイト「とみおか放射線情報まとめサイト」で情報を発信しています。



全体工程表

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和10年度
ライフライン (上下水道・道路)復旧		▶上下水道着手済		▶使用開始				
		▶道路着手			▶維持管理			
除染	先行除染区域	▶除染完了済						
	A地区	▶除染完了済	▶事後モニタリング (協議中)	▶フォローアップ除染		▶事後モニタリング		
	B・C地区	▶着手済						
農地		▶除染着手・除染完了	▶農地保全管理				▶営農再開	
帰還に向けた準備			▶立ち入り規制緩和 特例宿泊の準備・実施		▶避難指示解除			
事業再開			▶立ち入り規制緩和 特例宿泊の準備・実施		▶民間事業再開			
町営住宅新田団地			▶着手		▶供用開始			
双葉警察署 夜の森駐在所					▶再開			
夜の森公園			▶着手		▶使用開始			
桜並木		▶着手					▶維持管理	
健康増進施設		▶着手			▶使用開始			
夜の森つつみ公園					▶着手		▶使用開始	
JR夜の森駅前整備 (西口・東口)		▶着手済	▶使用開始					
路線バス					▶川内ー富岡線路線変更後運用開始			
距離案内板				▶着手	▶設置			



表紙:「君と歩む春」

松本忠(鉄道風景画家)
1973年 横浜市出身
JR夜ノ森駅など全国の鉄道風景画を手がける。
東日本大震災の際は、県内避難所を歴訪。
「桜の回廊」(富岡町文化交流センター,2019)に出版。

お問い合わせ先



福島県 富岡町 企画課

〒979-1192 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622番地の1

TEL:0240-22-2111 FAX:0240-22-0899

URL:<https://www.tomioka-town.jp/>

